

「みなとラグビーまつり2019港南 Supported by NEC」に出展しました。

ラグビーワールドカップ2019で日本がアイルランドに歴史的な勝利を収めた2019年9月28日（土）、塩と暮らしを結ぶ運動も、ラグビー関係のイベントに出展して、周知活動を行いました。

このイベントは、東京都港区の品川インターシティで開催された「みなとラグビーまつり2019 Supported by NEC」（主催：みなとラグビーまつり2019実行委員会）で、ラグビーワールドカップ2019に合わせて、ラグビーを肌で感じて港区全体で盛り上がることを目指すものです。トップリーグの選手によるラグビーの体験イベントやステージイベントなどが実施され、また、おまつりの後には、ラグビーワールドカップ2019の試合のパブリックビューイングが行われます。港南、お台場、芝公園と全3回の開催が予定されており、今回はその1回目です。

塩と暮らしを結ぶ運動では、このおまつりにブースを出展、塩飴や運動の冊子『塩と暮らしのあれこれBOOK』などを配付し、熱中症対策や塩と暮らしの関わりについてお伝えしました。また、輪投げも実施し、賞品として「塩イルカ」のTシャツ、てぬぐいなどのグッズや、運動の会員企業各社の塩商品を提供し、運動のPRも行いました。

日本対アイルランドの試合のパブリックビューイングを控え、会場には大勢の来場がありました。その中で、塩と暮らしを結ぶ運動では、約1,000名の方に冊子等をお渡しすることができました。また、そのうち約130名の方には、輪投げも楽しんでいただきました。

なお、今回のブースの運営は、塩輸送協会、全国塩元売協会、全国輸入塩協会、一般社団法人日本塩工業会、日本特殊製法塩協会（株式会社天塩）及び運動事務局という、まさに運動を挙げての体制で行いました。

